

台湾・海外交流研修に参加して

すみれ認定こども園 佐野 美樹

十一月五日、静岡空港より空路台湾桃園空港へ。飛行時間は三時間三十分。上空からキラキラ輝く夜景を見ながらの着陸でした。

六日、台北市内観光。忠烈祠、龍山寺では、一糸乱れぬ衛兵の交代式が印象的であり、仏像、道教や神像が祀られた風格ある寺の歴史を感じました。十分、九分では、『子どもたちの幸せ』を願い天燈（大型のランタン）を揚げました。また、「千と千尋の神隠し」のイメージの舞台となった町並みや軒下の提灯に旅情を誘われました。



七日、博如日本幼稚園視察。台湾人と日本人で資格を持った保育士や幼稚園教諭が、日本語による保育を行うということでした。年間行事では日本と台湾の伝統文化や行事を体験できるような配慮があり、日本人としての『情緒』『文化』が大切にされていました。午後は故宮博物院を見学後、ふじのくに静岡県台湾事務所の方と夕食を兼ねた意見交換会をしました。台湾の諸事情について直接話を聞くことができ、より身近に感じることができました。

八日、永和快樂瑪麗安（アメリカンスクール）視察。すべて英語のみの会話でした。朝の集まりの場面を見させていただき、ゲーム説明の場面では私自身参加させていただき貴重な体験ができました。年齢別のクラスの子どもたちと片言の英語で接することで、身近に感じることができました。午後は自由行動になり、私は台北のシンボル五〇八メートルの高さを誇るTaipei 101へ行きました。あいにくの天気で展望台からの景色は霧にかすんでいて残念でした。夕食は市内レストランにてさよなら夕食会でした。四泊五日の研修でしたが名残惜しい気持ちで胸がいっぱいになりました。また、サプライズがあり、十一月生まれの私は台湾でめでたいときに使う桃饅頭で誕生祝いをしていただき、思い出深い経験をさせていただきました。

九日、台湾での思いを胸に帰路につきました。この研修を通して、日本の文化と異なること、ものに触れることができ、よい経験ができたと思います。また、お国の違いはあっても子どもたちのことを大切に思う気持ちは、世界共通なのだなと痛感しました。

今回、このような機会を与えてくださった皆様をはじめ、快く送り出してくれた園長先生や職場の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。

